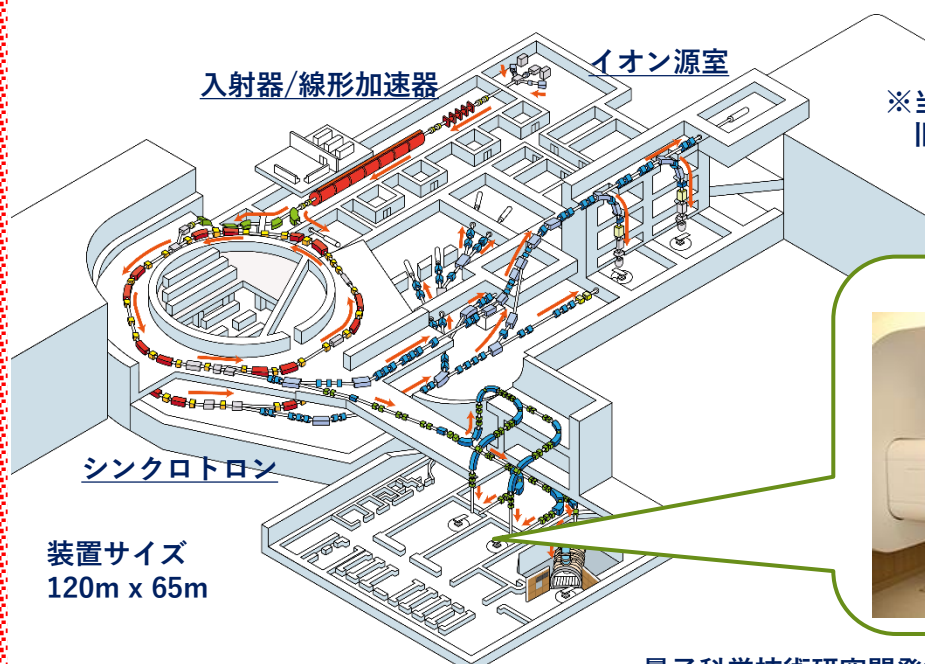


重粒子線がん治療 装置見学会

「春休み」に 放射線 を「知って、見て、体験」

中学校、高校の理科、技術・家庭科教員を対象に、放射線についての施設見学会を開催します。千葉県量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門にある世界初の重粒子線がん治療装置（HIMAC）の見学をはじめ、放射線を授業で教える際のポイントや簡単な実験方法などの講習を行います。奮ってのご参加をお待ちしております。



※当日は、イオン源室、ビームライン、旧治療室等の見学になります。



量子科学技術研究開発機構  HP掲載写真より作成

日時：2023年3月27日（月） 13時集合～17時解散 予定

集合・解散場所：JR総武線稲毛駅（千葉県） みどりの窓口前

会場：量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

対象：主に中学校・高校の理科、技術・家庭科教員

参加費：無料 （先着8名にて締切）

主催：（一社）日本原子力産業協会

□ 実施スケジュール

時間	内容	備考
13:30 - 14:20	放射線の基礎知識	授業で使えるポイントを解説。
14:30 - 15:20	学校でできる実習体験 ・ 目で見える放射線（霧箱） ・ 放射線検出器の使い方	
15:30 - 16:20	施設見学 ・ 重粒子線がん治療装置	新型コロナウイルス感染対策のため、現在、治療に使用している治療室を除く、イオン源室、ビームライン、旧治療室等の見学となります。
16:20 - 16:30	アンケート	終了後、稲毛駅まで移動し、解散。

□ お申し込み方法

電子メール（宛先：jinzai@jaif.or.jp）にて以下についてご連絡ください。

- ✓ お名前
- ✓ 学校名と担当教科
- ✓ 当日連絡可能な電話番号

□ お問い合わせ先

日本原子力産業協会人材育成部 担当 森野(もりの)、中村(なかむら)

TEL: 03-6256-9368 E-mail: jinzai@jaif.or.jp

昨年度参加者の感想

- ・ まず普段目にすることができない機器やその裏側も見せていただけました。
- ・ 装置を設計された先生から直接講義していただき、大変勉強になりました。
- ・ とても大きい霧箱や、各種サーベイメーターも本物を見ることができてよかったです。
- ・ 学習指導要領の改訂も踏まえたお話だったので、イメージがしやすかったです。
- ・ 実際に自分が足を運んでいると、放射線の利用例を生徒に示す際の説得力も増します。

※当日は歩きやすい履物でお越しください。また、マスクの着用をお願いします。
新型コロナウイルス感染予防策として、3つの「密」を避けて実施いたします。

◇ 新型コロナ感染の動向によっては、見学会を中止させて頂く場合があります。ご了承ください。